社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金　　令和02年03月05日

計画の名称	郡中地区まちづくり計画		
計画の期間	平成２８年度　～　令和０２年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	伊予市		
計画の目標	旧伊予市の中心部である灘町が商店街として栄えてきたが、国道56号の整備や消費者ニーズの変化とともに、国道沿線に新しい店舗や事業所が増え、松山自動車道伊予インターチェンジの開設等により、郊外型大型店舗の出店や増床が行われるようになり、中心市街地の衰退がみられるようになった。 一方で、中心市街地には昔の町家が多く残り、江戸時代の区割や骨格が残っているとともに、公共交通結節機能、経済機能、公共公益機能等の主な都市機能が既に集約されている。 こうしたことから、JR伊予市駅や伊予鉄郡中港駅等を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置付け、老朽化した公共施設の集約更新を行い、都市機能のコンパクト化と拡散防止、中心市街地における公共・公益サービス機能の維持を図る。また、郡中の古いまちなみを中心とする観光資源を活用し、地域内外の交流の拡大を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	4,548	A	4,524	B	0	C	24	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.52	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26当初)		(R2末)
1	図書館・地域交流センターの利用者数を62,706人（H26）から66,000人（R2）に増加させる			
	図書館・地域交流センター利用者数 図書館及び地域交流センターの複合施設の年間利用者数の合計	62706人／年	人／年	66000人／年
2	「町家」の入込客数を285,197人（H26）から301,000人（R2）に増加させる			
	「町家」入込客数 観光拠点やイベント会場である「町家」の年間入込客数	285197人／年	人／年	301000人／年
3	商店街の歩行者数を245人（H26）から275人（R2）に増加させる			
	商店街歩行者数 商店街の中心部にあたる「宮内邸」前における、10月の平日・土曜日の2日間、9:00～19:00の歩行者数合計	245人	人	275人
4	計画区域内居住人口を6,320人（H26)から6,350人（R2)に増加させる			
	計画区域内居住人口 都市再生整備計画の対象区域内における居住人口	6320人	人	6350人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

案件番号：　0000166561

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	－	－	郡中中心拠点地区都市再生整備計画事業	A=132.3ha	伊予市	■	■	■	■	■	4,524		－
											小計						4,524		
											合計						4,524		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	－	－	事業効果評価分析	事業効果の評価分析	伊予市					■	5		－
		今後のまちづくりを検討するための効果分析調査を行う。																	
	C10-002	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	－	－	街歩きマップ作成	景観資源を巡るマップの作成	伊予市					■	3		－
		A-1とセットで実施することで地域の魅力を発信し、街中への人の流れを創出する。																	
	C10-003	都市再生	一般	伊予市	直接	伊予市	－	－	道路交通社会実験	道路交通に係る社会実験の実施	伊予市			■	■	■	16		－
		道路整備による歩行者スペースの確保と併せて、商店街への滞留空間づくりを検討する。																	
											小計						24		
											合計						24		

案件番号： 0000166561

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H28	H29	H30		
配分額（a）	409	693	735		
計画別流用増△減額（b）	0	0	0		
交付額（c=a+b）	409	693	735		
前年度からの繰越額（d）	0	314	647		
支払済額（e）	95	360	792		
翌年度繰越額（f）	314	647	590		
うち未契約繰越額(g)	0	38	3		
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0		
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	3.77	0.21		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					